

デフリンピアンズを募集します

2020 東京五輪・パラリンピックに関する報道が毎日発信されています。しかし、デフリンピックはどうでしょうか？

全日本ろうあ連盟は国民にもっと知っていただくために、関係先へ啓発活動をすすめてきましたが、やはり、主人公は選手のみなさんです。その選手を応援するために過去のデフリンピックに出場したOBのわたしたち選手、スタッフが集まり、活動しましょう。

デフリンピックをもっと国民にひろげていきましょう
デフリンピックを目ざすアスリートを支援しましょう
聴覚障害者スポーツの発展に協力しましょう

そしてデフリンピアンズ協会（仮）をつくって社会にもっとPRしていきましょう。オリンピックは日本オリンピック協会、パラリンピックは日本パラリンピアンズ協会が結成され、多くのOB選手が活躍しています。内容は啓発のための講演、若手アスリートへの競技指導などです。



今後に向けて

1. まずデフリンピアンズとして登録しましょう
一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会内にデフリンピアンズコーナーをつくります。ここに氏名、連絡先、協力できる活動などを書面で申し込むだけです。（当分の間、一般財団法人全日本ろうあ連盟会員であれば会費は無料です
登録者には、スポーツ委員会から適時、ニュースを発信します。）
2. デフリンピアンズ登録者が増えてきましたら、デフリンピアンズの皆さんが、デフリンピアンズ協会（仮）を立ち上げることになるでしょう。
3. そしてデフリンピアンズ協会（仮）の皆さんが、国内外に対してメッセージを発信することによって、若いデフアスリートまた候補者が力強く励まされることになります。

関係機関とのネットワークを構築します

デフスポーツ関係団体ネットワーク（イメージ）



取り組み

1. 聴覚障害者スポーツ指導員等の育成（カリキュラム開発含む）
2. デフリンピックの社会認知向上
3. デフスポーツ関連情報の発信
4. 才能あるデフジュニア選手の発掘
5. デフジュニア選手のスポーツ環境改善
6. 競技における情報保障機器の開発
7. デフスポーツに関する調査・研究

デフリンピアンス協会（仮）のイメージ

（目的と事業）

- 1) デフリンピアン相互の理解と親睦。
- 2) 一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、日本パラリンピック委員会など関係団体との連携で、あらゆるスポーツ団体の発展。
- 3) 各国デフリンピアンス協会と交流と親睦。
- 4) 各デフスポーツ団体との連携で、国内におけるろう者スポーツのすそ野を広げ、競技スポーツや生涯スポーツの普及や啓発の推進。
- 5) その他本会の目的達成に必要な事業の実施。

（会員）

一般財団法人全日本ろうあ連盟会員は無料

1. 正会員

デフリンピックに出場した経験がある選手や監督、コーチ、スタッフの個人

2. 賛助会員

正会員以外の個人

3. 団体会員

この協会の目的に賛同した会社及び団体

（活動）

○デフリンピック応援イベント

○ろう者スポーツ普及・体験イベント

○講演会へのデフリンピアン派遣

○ホームページによる啓発

○スポーツ施策に対するデフリンピアンス協会としての意見表明

（事務局）

- デフリンピアンス協会事務局は一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会内（啓発事業部）におく。
- 事務局はデフスポーツ関係団体ネットワーク（イメージ）内で情報の発信。
- 講演、競技指導など要望やニーズを受け付けてデフリンピアンスに依頼。

当面の活動

デフリンピック啓発が中心になります。デフリンピアンスとして講師活動、デフリンピック啓発イベントの主催などが考えられます。

【お問い合わせ】

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SKビル 8階 一般財団法人全日本ろうあ連盟本部事務所内

電話(03)3268-8847 FAX(03)3267-3445 e-mail : jfd-sc@jfd.or.jp